

中央公論新社 2019年台北図書展送付図書リスト

Non Fiction

1. 『思考力を磨くための社会学』 岩本茂樹 (単行本)

「社会学」とは日常の出来事・問題を、社会学的なアプローチの方法で具体的に伝える学問である。身近な出来事を「人」と「社会」に絡めて考え、「自分について」知ること
で、自己の再発見・成長につながる。本書はまったく新しい社会学講義の決定版である。

2. 『老いと記憶、加齢で得るもの、失うもの』 増本康平

高齢社会にあって、退化する認知機能にどう向き合うか。加齢をネガティブ
にばかり捉えず、正しい知識で向き合うための書。

3. 『いろ習慣』 七江亜紀 (単行本)

色をうまく使える人ほど人生は豊である。色をビジネスにして多くの人の
悩みを解決してきた提案する暮らしのアドバイス。

4. 『共感スイッチ』 浜崎慎治 (単行本)

人気CMディレクターが「伝え方」のコツを教えます。それは、誰でも
もっている「共感スイッチ」を押すことです。

5. 『外国人が見た日本—誤解と再発見の観光 150 年史』

内田宗治 (中公新書)

日光東照宮、吉原遊郭、原爆ドーム、外国人は日本で何を見たかったのか、
また、日本人は何を見せたかったのか、過去 150 年の記録。

6. 『表現の技術』 高崎卓馬 (文庫)

本当に伝わる、グットくる表現とは何か。広告クリエイティブの第一人者が
ココロを動かす表現のつくり方、ヒットを生み出す考え方を教える

7. 『発達障害に生まれて—自閉症児と母の 17 年』

松永正訓 (単行本)

人の気持ちがわからない、人とコミュニケーションがとれない自閉症児の勇太君が母とどんな風に信頼関係を築いたか感動の記録。

8. 『心と体に効く温泉』 佐々木政一 (新書ラクレ)

現役の医師が215箇所の温泉を巡って選んだ秘湯・名湯。それぞれの歴史と賢い利用法。

9. 『中国経済講義—統計の信頼性から成長の行方まで』

梶谷懐 (中公新書)

中国の経済統計はどこまで信用できるか。不動産バブルの結末は、脅威論から崩壊論まで、評価の分かれる中国経済を緻密に分析する。

10. 『たそがれてゆく子さん』 伊藤比呂美 (単行本)

夫のER入院、新しい犬、原始人ダイエット、夢に見た専業詩人の生活、『閉経記』から5年、老いゆく「今」をつづる。

11. 『面倒くさい女たち』 河合薫 (新書ラクレ)

なぜ女性の話は長いのか、女性は本当に地図が読めないのか、「ジジイの壁」の著者が職場、社会にはびこる「ババアの壁」を斬る。

12. 『上皇の日本史』 本郷和人 (中公新書)

天皇が退位後に就く「上皇」が日本の歴史にどんな影響を与えたか。「上皇の歴史」の歴史をしらずに日本の歴史を知ることはできない。

13. 『日本型資本主義』 寺西重郎 (中公新書)

欧米とも他のアジア諸国とも異なる日本の経済システムはいかに生まれ、発達したのか。日本型資本主義の特質とその改革を提唱する。

14. 『エッセイの書き方』 岸本葉子 (文庫)

エッセイリストとして30年の経験から得た文章術を公開。自分の「エーッ」を読む人の「へー」に替える極意とは。

15. 『日本語びいき』 清水由美、ヨシタケシンスケ (文庫)

日本語ってムズカシイ? いえいえ、きちんと論理的です。笑えるイラストと日本語再発見の旅へ!

16. 『太宰治』 井伏鱒二 (文庫)

師として友として太宰治と親しく付き合ってきた井伏鱒二による交遊の思い出や作品解説など太宰に関するエッセイの集成。

17. 『歳を取るのも悪くない』 養老孟司、小島慶子 (新書ラクレ)

人生 80 年生きると違う景色が見えてくる。人生 100 年時代に不安一杯の小島さんが、養老先生に人生の極意を尋ねます。

18. 『植物のひみつー身近なみどりのすごい能力』 田中修 (新書)

タンポポの茎はなぜ空洞なのか、ヒマワリはどこまで高くなるのか、家庭や学校でよく見る 10 の植物の秘められた驚きの能力に迫る。

19. 『温泉の日本史』 石川理夫 (中公新書)

「神の湯」と神聖視された古代から、江戸時代にひらいた入浴文化、そして近現代の発展まで、豊富なエピソードで語る温泉の歴史。

20. 『精神科医が教える人生を楽しむほどほど老後術』 保坂隆

「古い」を不安に感じて、頑張りすぎている人たちに、心の名医が教える人生後半を「好い加減」にゆるりと豊かに暮らすヒント術。

21. 『中国の世界遺産を旅する』 湯浅邦弘 (新書ラクレ)

兵馬俑から明の十三陵まで、数多くある中国の世界遺産から選び出した 7 つの世界遺産の歴史から文化的意義、またアクセスまでを紹介する。

22. 『定年準備ー人生後半戦の助走と実践』 楠木新

40 万部を超える大ベストセラー『定年後』の続編。自分らしい第二の人生を生きるためには、定年前の準備こそ大切。多くの事例を紹介する。

23. 『100 歳の 100 の知恵』 吉沢久子 (単行本)

100 歳の生活評論家が伝え残したい、古くて新しい暮らしの知恵 100。旬を味わう料理のコツから、くよくよしない生き方までを伝授

24. 『私は 6 歳までに子供をこう育てましたー3 男 1 女東大理 I I I
の母』 佐藤亮子 (単行本)

日本で最も入るのが難しい東京大学理科3類に4人の子供が入れた母親の子育て論。
東大はゴールではない！ 母も子どもも楽になる「超合理的」乳幼児期教育

25. 『臨終の謎－医師が体験した不思議な話』 志賀貢（単行本）

数千の看取りに立ち会った臨終医の著者が体験した世にも奇妙な臨終の数々。涙あり笑いありの話が満載。人はどんな風に臨終を迎えるのか、また幸せな死とは何でしょう？

26. 『理科系の読書術』 鎌田浩毅（中公新書）

「最後まで読まなくていい」「難しいのは著者が悪い」「アウトプットを優先し不要な本は読まない」など、読書が苦手な人でも仕事や勉強を効率よく進めるヒントが満載。文系の人にもおすすめの、理科系の合理的な読書術を伝授する。

27. 『たたずまいの美学－日本人の身体技法』 矢田部英正（文庫）

窮屈なものとしてきた日本人の所作が秘める風土に根ざした合理性とは？ 所作、履き物、坐り方、呼吸法、武道。身体論から日本文化の原点に迫る。

28. 『物語数学の歴史』 加藤文元（中公新書）

古代バビロニアで二次方程式が生まれて以来四千年、人々の情熱と天才によって、人類は壮大な数学の世界を築いてきた。円周率、微積分、非ユークリッド幾何、集合論――それぞれの発見は、数学史の中でどんな意味を持ち、どんな発展をもたらしたのか。数学史決定版。

29. 『パクチーとアジア飯』 阿古真理（単行本）

好き嫌いがキッパリ分かれるパクチーの爆発的なブームとともに、第二のアジア飯ブームが到来している。ガパオ、パッタイ、カオマンガイ……。日本にアジア飯を広めた移民社会と日本人に丹念に取材しながら、日本人を虜にしたパクチーとアジア飯の魅力の謎に迫る。

30. 『チキンラーメンの女房』（単行本）

NHK朝ドラ『まんぷく』ヒロイン・福子のモデル、日清食品創業者の妻、安藤仁子さん。幾度もどん底を経験しながら、明るく前向きに生きた姿に、悩みに向き合う人たちへの答えやヒントがある

31. 『日本軍兵士』 吉田裕（中公新書）

310万人に及ぶ日本人犠牲者を出した先の大戦。実はその9割が1944年以降と推算される。本書は「兵士の日線・立ち位置」から、アジア・太平洋戦争の実態を追う。異常に高い餓死率、30万人を超えた海没死、戦場での自殺と「処置」、物資欠乏……。勇猛と語られる日本兵たちが、特異な軍事思想の下、凄惨な体験を強いられた現実を描く。

32. 『宇宙はどこまで行けるのか』 小泉宏之（中公新書）

かつて、宇宙ロケットの打ち上げといえば、国家や国際機関が手がける一大プロジェクトだったが、主役は大学や新興企業に替わりつつある。ロケットの超小型化・量産化が進んだことで、低コスト・高頻度の打ち上げが可能になったからだ。ロケット開発や宇宙探査は現在どこまで進んでいるのか、人類は太陽系を飛び出せるか——宇宙の今と未来に迫る。

Fiction

1. 『5分でとろける恋物語—ときめきスイート編』 エブリスタ

俺のこと、好きでしょ？「彼氏と味わう、ちょっとお高いモンブランの甘い味」「最近売れ出したバンドマンの彼に、もやもやする女子」など、恋の話、10篇を詰め合わせ！

2. 『5分でとろける恋物語—しっとりビター編』 エブリスタ

今日、隣にいてくれるだけでいいから。「死んでしまった実の姉に想いを寄せる男子に恋をする女子高生」「中学最後の夏休み、芸術家とのほろ苦い出会い」など、ぴりっとほろ苦い大人の恋の話、9篇。

3. 『白いジオラマ』 堂場瞬一（単行本）

元刑事での麻生和馬は、元引きこもりの孫・新城将に言った。「二万円やるから、俺のバイトを引き受けろ。張り込みだ」。将は、ある老女の〈捜査〉ならぬ〈調査〉を開始する。やがて、箱庭＝ジオラマのような街の〈断層〉が浮き彫りになる。姿を消した独居老人の行方は、暗い顔で子ども食堂に通う少女に笑顔が戻る日はくるのか？

4. 『緑の花と赤い芝生』 伊藤朱里（単行本）

対照的な二人の二十七歳、専業主婦の母に育てられた、リケジョでバリキャリの志穂子。厳しい教師の母に育てられた、家庭に重点を置く杏梨。女としてのスタンスが異なる二人が、志穂子の兄と杏梨の結婚で突然交わった時、彼女たちは何を思い、動くのか？ 幸賞受賞作家・伊藤朱里の新作は、女性のリアルをえぐり出す。

5. 『冷たい檻』 伊岡 瞬（単行本）

日本海沿いにある小さな村の駐在所から警官が失踪した。後任として着任した島崎巡査部長の下に、県警本部から送り込まれた調査官・樋口が現れる。警察内で密かに失踪事件を調査することのようなのだが……。過疎の村にふきだまる欲望！ 巨大福祉施設に隠された恐ろしい秘密は暴けるのか。一気読みの警察小説巨篇！

6. 『偽姉妹』 山崎ナオコーラ (単行本)

私、お姉さんたちとは別に、姉妹になりたい人ができたの——まったく新しい家族のつくり方を模索する、山崎ナオコーラのポップで自由な家族小説！億円の宝くじが当たった真面目で地味な正子（35歳）。当せん金で『屋根だけの家』という風変わりな家を見て、イケメンの夫・茂と息子の3人で暮らしていたが、茂の浮気で離婚。シングルマザーになった正子は、姉妹の衿子・園子と暮らすことに。まったく新しい姉妹像から、現代の家族観を揺さぶる、山崎ナオコーラのポップで自由な家族小説。

7. 『三千円の使い方』 原田ひ香 (単行本)

「人は三千円の使いかたで、人生が決まるよ」結婚、子育て、入院、離婚、老後……御厨家の女性たちが直面する人生の節目やピンチ。前向きに乗り越えるためには、どう貯めて、どう使う？ 一生懸命生きるあなたのための「節約」家族小説

8. 『老後の資金がありません』 垣谷美雨 (文庫)

「老後は安泰」のはずだったのに！ 娘の派手婚、舅の葬式、姑の生活費……しっかり蓄えた老後資金はみるみる激減し、夫婦そろって失職。家族の金難に振り回されつつ、やりくりする篤子の奮闘は報われるのか？ ふりかかる金難もなんのその、生活の不安に勇気とヒントをあたえる家計応援小説。

9. 『当確師』 真山仁 (文庫)

莫大な報酬と引き換えに、当選確率99パーセントを約束する敏腕選挙コンサルタント・聖達磨。「当確師」とも呼ばれる彼への今回の依頼は、大災害に備えた首都機能補完都市に指定された高天市の市長選で、圧倒的支持率を誇る現職を倒すこと。裏切り、二重スパイ、買収、盗聴、恫喝なんでもあり——政治の世界の表と裏を描ききった、選挙版「ハゲタカ」！

11. 『銀色のマーメイド』 古内一絵 (文庫)

あの「マカン・マラン」の原点がここに！ 自分の泳ぎばかり考え、周囲に興味がなかった龍一。しかし主将で幼馴染みのタケルがいなくなったことで退部者が相次ぎ、水泳部は降格の危機を迎える。部の存続のため部員集めに奔走する龍一は、水中を滑降するように泳ぐ“人魚”を見つけた。それは謎めいた美少女・雪村襟香……？ 『快晴フライング』改題

12. 『十六夜荘ノート』 古内一絵 (文庫)

英国でこの世を去った大祖母・玉青から、高級住宅街にある屋敷「十六夜荘」を遺された雄哉。思わぬ遺産に飛びつくが、大祖母は面識のない自分に、なぜこの屋敷を託したのか？ 「十六夜荘」にこめられた大祖母の想いと、そして「遺産」の真の姿を知ることになり——。